

## 第3学年3組 道徳学習指導案

### 心をこめて

「生きたれいぎ」2 - (1) 礼儀 (出典：新しいどうとく 光文書院)

指導者 東広島市立三ツ城小学校 榎並 愛子

#### 1 道徳の時間の展開にあたって

##### — 本時のねらい

礼儀というのは形だけのものではなく、誰に対しても心を込めて接することが大切であることに気づかせる。

##### 主題設定の理由

私たちが、人とよりよく関わるためには「礼儀」を欠かすことはできない。礼儀の本質は、心から相手の存在を認めるということにある。本当の礼儀とは、単に目に見える動作のよさだけでなく、相手の立場になり、相手を尊重する心から生まれてくる。相手のことを考えた細やかでさりげない気配りがある、初めて人の心を温かくすることができるのである。そこで、これまでに児童が身につけてきた人と接するときの態度に加えて、礼儀とは形だけのものではなく、誰に対しても心を込めて接することが大切であることに気づかせるとともに、自分も心を込めて人と接していこうとする心情を育てたいと願って本主題を設定した。

本資料に登場する女王は、フィンガーボールの使い方を知らなかった客人に対して、自分も客人と同じようにフィンガーボールの水を飲むという行為を選択した。なぜ、女王がフィンガーボールの水を飲んだのかを考えさせたり、女王がマナー通りにフィンガーボールの水で手を洗った時のお客様の気持ちを考えることで、形通りの礼儀ではなく、相手のことを思いやり、心を込めて接することの大切さに気づかせることができる。と考える。

##### 具体的な手だて

場面の状況を的確に把握させるために

- ・フィンガーボールや、場面の挿絵を活用する。

女王が、フィンガーボールの水を飲んだ理由を理解させるために

- ・なぜそう考えたのかという理由をしっかりと聞き合いながら意見交流をさせることで、女王のお客様を思いやり、心を込めて接した態度のすばらしさに気づかせる。
  - ・女王がマナー通りにフィンガーボールの水で手を洗った時のお客様の気持ちを考えることで、形通りの礼儀ではなく、相手のことを思いやり、心を込めて接することの大切さに気づかせる。
- 日常生活の中で「自分も相手のことを思いやり、心を込めて人と接していこう」とする心情を育てるために
- ・本時の話の聞き方のよさについて振り返ることで、「相手のことを思いやり、心を込めて行動する」ことのよさに気づかせ、実践意欲をもたせる。
  - ・本時を心を込めたあいさつで締めくく。

##### — 本時と日常生活とのかかわり・子どもの姿

本学級の児童は、全員であいさつをするときは元気に明るい声であいさつをすることができる。しかし、一人一人のあいさつの声・表情・態度は形式的なものにとどまり、心がこもっているとは言い難い。また、相手の話を最後まで聞く・マナーを守って食事をするという点においても、相手意識がまだうすく、常に「今自分がどのような態度で相手と接しているか」を意識させなければならないのが現状である。

## 2 授業の視点

挿絵を活用しながら、女王がお客様と同じようにフィンガーボールの水を飲んだ理由を考えさせることを通して、礼儀というのは形だけのものではなく、誰に対しても心を込めて接することが大切であることに気づかせる授業を提案します。

## 3 学習過程

...評価の視点

	学習の流れ	教師のはたらきかけ
気づく	<p>1 フィンガーボールとはどのような場面で使うものなのかを知る。これは食事の時間においてあるものですが、どのように使うものだと思いますか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・飲むんだと思います。</li> <li>・手が汚れたのを洗うんだと思います。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・どのような場面で使うものなのかをイメージしやすいように、フィンガーボールの具体物を用意する。</li> </ul>
心をたがやす	<p>2 女王が、フィンガーボールの水を飲んだ理由について考え、話し合う。女王は、お客様がフィンガーボールの水を飲んだ後どうしたと思いますか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・正しい使い方を教えてあげた。</li> <li>・だまって知らん顔をしていた。</li> <li>・自分も同じようにした。</li> </ul> <p>お客様がフィンガーボールの水を飲んだのを見て、女王もフィンガーボールの水を飲んだのはなぜだと思いますか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分も同じようにしないと、お客様に悪いと思ったから。</li> <li>・もし、自分がフィンガーボールの水で手を洗ったら、お客様が恥ずかしい思いをするから。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・話を進めながら場面の状況を把握させる。お客様は、フィンガーボールの使い方を知らなかったために中の水を飲んでしまったこと。女王は正しい使い方を知っていながらも、あえてフィンガーボールの水を飲んだこと。</li> <li>・なぜそのような考えたのかという理由をしっかりと聞くことで、お客様がそのまま楽しく食事が続けられるようにと考えて接した女王の思いやりの行為に気づかせる。</li> <li>・女王がマナー通りにフィンガーボールの水で手を洗った時のお客様の気持ちを考えることで、形通りの礼儀ではなく、相手のことを思いやり、心を込めて接することの大切さに気づかせる。</li> </ul> <p>女王がお客様のことを思いやり、心を込めて接したことのすばらしさを感じ取ることができたか。 【児童の様子】</p>
高める	<p>3 学習したことを、どのように生かしていくか考える。今日の学習のなかで、「友だちがこんなふうに聞いてくれて嬉しかったよ」というのがありましたか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・目を見て聞いてくれて嬉しかった。</li> <li>・「同じです」と言ってくれて嬉しかった。</li> </ul> <p>心のこもったあいさつをして終わります。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・具体的に「聞くときのマナー」について振り返ることで、「常に相手を意識し、相手のことを考えて一生懸命聞く」よさを実感させる。</li> <li>・あいさつの仕方やちょっとした気配りなど、「相手のことを思いやり、心を込めて行動する」ことを意識させ、できることから始めようとする意欲をもたせる。</li> </ul>